

バンダイこどもアンケートレポート Vol.220

「子どもたちが考える“日本”に関する意識調査」結果

～小中学生※にとっての“日本”の魅力とは？～

TOPIC①: 自分の住む国「日本」に対してポジティブなイメージを持つ子どもは、**約8割!**
日本は**「平和な国」**、**「安全な国」**という回答が多数。

外国人の友達ができたとしたら、日本の何をおすすめしたいか?

TOPIC②: おすすめしたい日本の文化・芸能 1位**「マンガ・アニメ」**、2位**「日本食」**、3位**「温泉」**
おすすめしたい日本の料理 1位**「寿司・刺身」**、2位**「ラーメン」**、3位**「たこ焼き」**

TOPIC③: 連れて行ってあげたい都道府県 1位**「京都府」**、2位**「東京都」**、3位**「北海道」**
日本の文化・伝統を伝えたい、人気の観光地に連れて行ってあげたい、という声が多数。

総括 : バンダイからのコメント

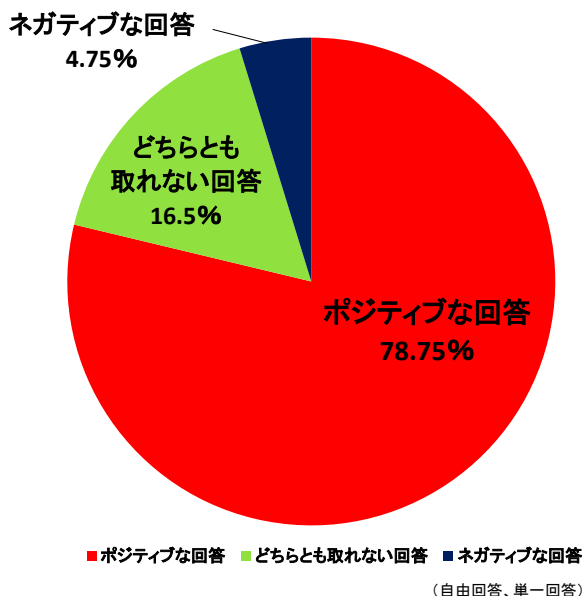
※小学5年生から中学3年生

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、2月11日の「建国記念の日」にあわせ、子どもたちが自分の住む国「日本」をどのように見ているかを探るため、小学5年生から中学3年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)800人を対象に、「子どもたちが考える“日本”に関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。(実査期間 2015年1月9日～12日)

TOPIC①: 自分の住む国「日本」に対してポジティブなイメージを持つ子どもは、約8割!
日本は「平和な国」、「安全な国」という回答が多数。

「日本」を一言で言うとどのような国だと思うかを自由回答で聞いたところ、ポジティブな回答が78.75%となり、**8割近くの子どもの日本に対してポジティブなイメージを持っていることがわかりました。**一方で、ネガティブな回答は4.75%にとどまり、ポジティブにもネガティブにも取れない回答は16.5%となりました。

【「日本」を一言で言うとどのような国だと思うか】



ポジティブな回答としては、「平和」、「安全」、「いい国」、「安心」、「きれい」などのワードが多く挙げられました。また、「世界にもすばらしいと認められる事柄が多くなった。だから日本人として誇れる国だと思う」(中学3年生女子)、「助け合いの心を持ったおもてなしの国」(中学1年生女子)、「車など機械開発の技術が優れている国」(中学1年生男子)などのコメントが見られ、自分の住んでいる国に対して誇りを持っている様子がうかがえます。

ネガティブな回答としては、「いまの日本は景気が悪い」(小学6年生女子)、「輸入が多すぎる」(小学5年生女子)「少子高齢化」(中学2年生男子)、などのコメントが寄せられました。どちらとも取れない回答としては、「島国」、「アジアの国」など主に事実を述べたものや、「わからない」といったコメントが見られました。

全体として、子どもたちが日本の特徴や、国内外も含めた社会情勢などを理解している様子が読み取れます。

外国人の友達ができたとしたら、日本の何をおすすめしたいか？

今回の調査では、子どもたちが考える“日本”の魅力を探るために「外国人の友達ができたとしたら、日本の何をおすすめしたいか」という質問をしました。

TOPIC②: おすすめしたい日本の文化・芸能 1位「マンガ・アニメ」、2位「日本食」、3位「温泉」
おすすめしたい日本の料理 1位「寿司・刺身」、2位「ラーメン」、3位「たこ焼き」

外国人の友達におすすめしたい日本の文化・芸能		
1位	マンガ・アニメ	44.8%
2位	日本食	40.9%
3位	温泉	20.1%
4位	ゲーム	16.4%
5位	お祭り	14.3%
6位	伝統玩具(おりがみ・けん玉・おはじきなど)	13.8%
7位	和服(着物・浴衣など)	11.5%
8位	スポーツ(柔道・空手・剣道など)	11.4%
9位	書道	10.9%
10位	ゆるキャラ	9.6%

(選択式、複数回答)

外国人の友達におすすめしたい日本の文化・芸能の1位は「マンガ・アニメ」となりました。その理由として、「世界で認められているから」(小学6年生女子)、「クールジャパンとして有名だから」(中学2年生女子)などのコメントが寄せられ、全体として日本のマンガやアニメは「海外でも人気がある、有名だから」という回答が多く目立ったほか、「ワンピース」や「妖怪ウォッチ」、「ドラえもん」など、具体的な作品名を挙げるコメントも多く見られ、「マンガ・アニメ」が子どもたちにとって身近な日本の文化・芸能であることがうかがえます。

また、4位の「ゲーム」でも、1位の「マンガ・アニメ」と同様に具体的なコンテンツ名やキャラクター名を挙げるコメントが多く見られました。

2位は「日本食」となり、その理由として「世界無形文化遺産に登録されたから」、「美味しいから」、「外国の人にも人気があるから」というコメントが目立ちました。

おすすめしたい日本の料理を聞いたところ、2位以下を大きく引き離して「寿司・刺身」が1位となり、「寿司の美味しさを海外の人に教えてあげたい」などのコメントが寄せられました。

外国人の友達におすすめしたい日本の料理		
1位	寿司・刺身	78.6%
2位	ラーメン	45.3%
3位	たこ焼き	29.4%
4位	白いご飯(おにぎり含む)	26.3%
5位	お好み焼き	24.8%

(選択式、複数回答)

3位は「温泉」となり、その理由として「日本らしいから」、「ゆっくりできるから」というコメントが目立ちました。また、「外国ではお風呂(湯船)につかるという習慣が少ないと聞いたから」、「外国に温泉はあまりないから」というコメントも見られ、外国と日本を比較した上で「温泉」を日本ならではの文化と捉えている様子がうかがえます。

また、日本の伝統的な文化である「お祭り」(5位)、「伝統玩具(おりがみ・けん玉・おはじきなど)」(6位)、「和服(着物・浴衣など)」(7位)、「スポーツ(柔道・空手・剣道など)」(8位)、「書道」(9位)もランクインしました。「伝統玩具」と答えた理由として、「けん玉は今や世界的に有名になっているから」(中学3年生男子)、「和服」と答えた理由として、「日本の着物は素晴らしいから。いろんな技術の結晶だし、綺麗なものはどの国の人も好きだと思うから」(中学2年生女子)などのコメントが寄せられました。

10位にランクインした「ゆるキャラ」へのコメントは、「ふなっしー」「くまモン」という具体名に加え「日本経済にも関わる日本の代表的なものだから」(中学3年生女子)など、ただかわいいだけではなく、社会に大きな影響を与える日本の文化の1つとして認識されていることがわかります。

全体の回答・コメントから、多くの子どもたちが日本の文化・芸能に誇りを持ち、その良さを伝えたいと思っている様子が見られました。

TOPIC③: 連れて行ってあげたい都道府県 1位「京都府」、2位「東京都」、3位「北海道」

日本の文化・伝統を伝えたい、人気の観光地に連れて行ってあげたい、という声が多い。

外国人の友達を 連れて行ってあげたい都道府県		
1位	京都府	24.5%
2位	東京都	22.1%
3位	北海道	6.0%
4位	大阪府	5.8%
5位	福岡県	4.3%

(自由回答、単一回答)

外国人の友達を連れて行ってあげたい都道府県を聞いたところ、1位は「京都府」(24.5%)となり、観光地としての人気の高さを示す結果となりました。連れて行ってあげたい理由として、「歴史があって、日本の伝統を教えてあげられると思うから」(中学1年生男子)、「日本の文化の基本的なものが沢山集まっていて、目で見て楽しめると思うから」(中学3年生女子)などのコメントが目立ち、歴史的建造物が多い点や日本らしい文化が体験できる点が、支持された要因と考えられます。また、「修学旅行に行ったら楽しかったから」(中学3年生男子)など、自分自身の経験を挙げるコメントも見られました。

1位「京都府」と僅差で2位となったのは、「東京都」(22.1%)です。理由として、具体的な場所の名前を挙げる傾向があり、「東京スカイツリー」、「東京タワー」、「浅草」、「秋葉原」、「原宿」などに連れて行ってあげたいから、という意見が多数寄せられました。観光地や人気のスポットが多数あることが支持された要因と考えられます。また、「全国各地の色々なものが東京には集まっているから」(小学6年生男子)、「日本の首都で色々な経験・体験ができる」(中学3年生女子)など、日本を代表する都市としての魅力を伝えたいというコメントも見られました。

3位の「北海道」(6.0%)では、「自然が豊か」(中学1年生男子)、「食べ物が美味しい」(小学5年生男子)などのコメントがあり、自然や食べ物が人気の要因となっているようです。

【バンダイからのコメント】

今回の子どもアンケートでは「建国記念の日」を前に、子どもたちが自分の住む国「日本」に対してどういったイメージを持っているかを探りました。質問をより身近に感じてもらうため、「外国人の友達ができた時に、日本の何を紹介したいか」という聞き方になっています。調査の結果、多くの子どもたちが日本にポジティブなイメージを持っており、「マンガ・アニメ」、「日本食」など海外でも人気の高い日本の文化や、「温泉」、「伝統玩具」、「和服」など日本ならではの文化に誇りを持っている様子がうかがえました。

昨年2014年は、日本を訪れる外国人旅行者数が過去最多の1,300万人にのぼったそうです。経済産業省の推進する「クールジャパン」や、2020年の東京オリンピックに向け、日本の国際化はさらに進み、子どもたちが外国人と触れ合う機会は今後さらに増加していくと考えられます。今回の調査により、私たち大人が子どもたちの「日本」に対するポジティブなイメージを認識し、より良い社会をつくる行動のきっかけになればと思います。

■調査概要

【調査目的】日本の魅力に関する意識・実態を探る

【調査地域】全国

【対象者条件】小学5年生～中学3年生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】2015年1月9日(金)～1月12日(月)

【サンプル数】800人

【構成】

(全体)	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生
男子	80人	80人	80人	80人	80人
女子	80人	80人	80人	80人	80人

こどもアンケートホームページ:<http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ:<http://www.bandai.co.jp/>